

市民と学生が語り合う場、ティーチイン岡山の実践！



● 社会的背景

- ①若者の社会離れ・政治離れによる10代、20代の投票率の低下
- ②高齢化や若者の都市への流出による地域共同体の弱体化
- ③グローバル化の進展による日本社会の多文化化

● 活動の目的

- ①世代や立場を超えた人々の「話し合い」によるコミュニケーションの場の創造。
- ②社会問題の解決策の検討を通じた、公共空間の形成
- ③マイノリティの人々の関わる問題の社会全体への発信

● 活動の概要

大学生を中心とするチーム（CUBE）が、地域に住む大学生、高校生、大人など様々な世代、異なる職業や立場の方を交えた「話し合い」の場である「ティーチイン岡山」を企画・運営する。地域社会の抱える様々な問題について解決策を検討することを通して、問題を社会に向けて発信している。これまで、6回のワークショップを開催し、年内にさらに2回開催予定である。

● 活動による効果

- ①取り上げた問題に対する、高校生をはじめとする若者の関心を高めた。
- ②若者と地域の人々との「話し合い」を通して、参加者の問題解決力やコミュニケーションの能力などを高めた。



ミャンマーの住民への支援について意見を交わしたオンラインの一場面

地元紙に取り上げられた、オンラインでのティーチイン岡山の様子



ミャンマーからの留学生の話を聞くワークショップの参加者

地元紙で取り上げられた、ミャンマー情勢について考えるティーチイン岡山の様子